
七人衆

うまごん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

七人衆

【Nコード】

N2332E

【作者名】

うまごん

【あらすじ】

オープニング20XX年この物騒な時代小学校にも警察を設置する世の中になったその名も「警察予備隊」別名七人衆この物語はある小学校の七人衆の記録である

第一話

オープニング

20XX年この物騒な時代小学校にも警察を設置する世の中になったその名も

「警察予備隊」別名七人衆

この物語はとある小学校の七人衆の記録である

第一話 火野大寛

「俺の名前は火野大寛、小学5年生。なぜかは分からないけど昔から悪いことはなぜか許せない。」

そんなおれにぴったりの委員会を見つけたそれは、「七人衆」
今俺は七人衆の担当の

「米田次郎先生」の所へ向かっている」

「失礼します。」

職員室のドアを開ける

「米田先生いますか」

「はい何のようですか？」

「あのー僕七人衆に入りたいんですけど」

「はつきり言つて厳しいよ」

米田先生が真剣な顔つきで答える

「本当ですか？具体的に何をしますか？」

火野が聞く。

「具体的にはもしも学校に不審者や侵入者が来た場合取り押さえてもらいます。」

他にはいろいろとお金が掛かるので経費節約のために警備員さんをしてもらいます。」

あと放課後は侵入者が来たときのために訓練をしてもらいます。」

まあそんな感じかな。」

しばらく沈黙が続く。

「あれーもしかして大変そうだからっておじげずいた？」
先生が聞く。

「すごいなーめっちゃめっちゃ楽しそうじゃないですか、僕やっぱり七人衆に入ります。」

火野が目を輝かせて言う。

「そーかそーか入る気になったか。だけど入るためには試験があるんだよねー」

先生がうれしそうに言う。

「試験　無理だー」

火野がその場にしゃがみこんだ。

「俺馬鹿だから絶対落ちるー」

火野が絶望していると先生がこういった。

「大丈夫試験といつても筆記試験じゃないから」

「あつもうこんな時間かじゃあ試験はまたいつかやるから今日は帰りなさい」

「はい。失礼しましたー」

火野が上機嫌で職員室を出て行く。

「さて始めるか。」

第一話（後書き）

どんどん更新していくので意見がありましたら
どんどん書いてください

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2332e/>

七人衆

2010年10月9日22時26分発行